

6. 本会議後の取組

(1) 「私たちからの提言」発表会

平成 24 年 11 月 15 日（木） 16：30～18：00 会場：301 会議室

- ①市長あいさつ
- ②子ども議員による提言発表
 - ・ 総社東中学校 「総社市防災週間」の制定
 - ・ 総社西中学校 「子ども版広報そうじゃ」の作成
 - ・ 総社中学校 観光パンフレットの作成
 - ・ 昭和中学校 観光パンフレットの作成
- ③提言書提出
- ④講評



(2) 仙台市長来総イベント

「ともに、前へ ころろ ひとつに
～ がんばろう日本 がんばろう仙台 ～」

平成 24 年 11 月 17 日（土） 14：00～15：35 会場：大会議室

- ①ウエルカムミュージック
合唱団こぶ
- ②市長あいさつ
- ③子ども議員から視察お礼と報告 行政視察報告 DVD 贈呈
- ④講演
「仙台からのメッセージ」 仙台市長 奥山 恵美子氏
- ⑤鼎談
「東日本大震災からみた今後の防災のかたち」
仙台市長 奥山 恵美子氏
AMDA グループ代表 菅波 茂 氏
総社市長 片岡 聡一



総社中学校・昭和中学校の提言「観光パンフレット作成」については、「2013 そうじゃ吉備路マラソン」大会公式プログラム内のコース周辺観光ガイドの4ページを子ども議員が編集。これまでとは一味違う、中学生らしいアイデアが随所に見られ、読みやすいものとなりました。

(3) 提言実現の取組

総社東中学校の提言「総社市防災週間の制定」については、制定に向けて準備を進めています。
総社西中学校の提言「子ども版広報そうじゃ」については、B4版1枚2ページのものを年3回(7月・12月・3月)発行することとなりました。表面は、市政をわかりやすく子どもに紹介、裏面は、学校紹介のページとして、各校の生徒会・児童会が担当して執筆します。第1号が、25年3月に発行されました。



子ども議員としての活動を振り返って

総社東中学校	河野 洸都	子ども議員として訪れた被災地 宮城県ではまたまた「復興」が進んでいませんでした。そこで見た光景は今でも覚えています。被災地のみならず、今でも元気で僕もみなさんを見て元気をもらいました。子ども議員での貴重な体験をこれからの生活に活かそうと思いをしました。
	光畑 舞	議会での市長との討論は、とてもよい経験になりました。宮城県仙台市の視察では、現地の方から話を聞いたり、私たちと同じ中学生から話を聞くこと、もし災害がおこったとき、私たち中学生が何をすべきなのか、学ぶことができました。この素晴らしい体験を、これからの生活に活かしていきたいです。
	梶原 陸	僕は子ども議員としての活動を通して、たくさんりことを学ぶことができました。仙台を訪問した際には、目を疑う光景を見て、自分に何が出来るかという事を考えさせられました。この経験を無駄にせず、日々生活していきたいです。
	岡 来夢	子ども議員になって、宮城へ行き地震や津波の恐ろしさをあらためて知りました。また提案をしたことも自分にとってよい体験にもなったと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
	佐々木 悠莉	議会の提案では、初めて総社市について深く考え、勉強しました。大勢の方の前で緊張しましたが、そのこともよい経験になりました。また 宮城への視察は、今までにない衝撃を受けました。これから、被災地の復興のために、何が出来るか、考えていきたいです。
	中島 由香	行政視察に行き、被災した中学生と意見交換をした中で、「震災のことを忘れないでほしい」という訴えや「友達と協力して毎日がんばっている」という前向きな声は私の心に強く響きました。そして、総社市のより多くの方が彼らの思いを受けとり、防災意識を忘れないでほしいと思い、議会の場で提案しました。子ども議会が被災した方々と総社市民の心がつながるきっかけになればいいなと思っています。
総社西中学校	江原 聖裕	仙台を訪問したり、議会で市長さんに質問したり、とても忙しくて緊張する日々が続きましたが、自分を大きく成長させることができたと思います。本当にありがとうございました。
	大森 章吾	一番印象に残っているのは、宮城県へ訪問させてもらったことです。その中でも、ガレキの山に付いて、被災当時の写真が心に残っています。テレビではもうあまり取り上げられなくなっていますが、あのガレキの山、知事が整備が進んでいない元住宅街などを見るとき、これまで何も知らなかったこと、衝撃を受けました。
	織本 洸太郎	僕は、子ども議員として任命された時はとても不安でした。けれど、任命式の時の市長の一言でその不安がなくなり、できる限り頑張ろうと思いました。子ども議会では、東北へ行き震災の悲惨さと防災意識の大切さを学びました。そして、学んだことを友達や家族に伝えたり、生活に活かしていきたいと思いをしました。

子ども議員としての活動を振り返って

総社西中学校	細川 千晶	子ども議会をしたことは、どれも貴重なことばかりだったので、私がやるのはもうないくらいでした。つい先日、私が議会を卒業した「子ども版広報そうじ」第一号が発行され、とても素敵な仕上がりで、とてもおどろきました。このことを含め、東北への視察、議会を行うことができたのも、市長さん、市役所のみなさん、市民のみなさん、先生方のおかげです。私たちが子ども議員を支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。
	犬飼 満美子	子供議員をして、自分の住む町についての関心が高まりました。また、市議会でものごとくを決めることの大変さや難しさ、市議会の仕組みについて、多くのことを学ぶことができて、とてもよい経験になりました。
	松浦 公美花	私は子ども議員になり、総社市の取り組みを学んだり、同じ中学生と意見を出し合うことで新たな考えを出したり、総社市をよりよくしていく案を考えたりと、多くのことを考え、多くのことを学びました。その中でも、宮城県に行政視察に行ったことがとても心に残っています。想像以上に震災の恐ろしさを実感したり、被災地の中学生の心の強さに感動しました。私が子ども議会を学んだことは、大人になっても、しっかり覚えておこうと思います。
総社中学校	神崎 恵太	僕は子ども議員として総社市について今まで知らなかったこともたくさんありました。この機会により深く知ることができました。また、夏休みに東日本大震災の被災地である東北を訪問でき、とても良い経験となりました。この経験を忘れずにこれからの生活にいかしていこうと思います。
	河原 翔	私は初めて言葉場に入って、とてもドキドキしました。しかし、少しづつ慣れてきて落ち着いてすることができました。私たちが提案したことが、今後の総社市にとってよりよいものになればいいと思います。また、東日本大震災の被災地である仙台市石巻市に行政視察に行き、その現状を知りました。今も大変な状況の中、悲しさを乗り越えようと元気をだして明るく前向きに生活している人がいるという事がとても印象に残っています。
	陶山 早苗	私は子ども議員として活動をして、以前よりも総社市に興味や関心をもつようになりました。また、実際の市議会のように市長さんなどと議会を行ったり、被災地に行政視察に行ったり、パンフレットを製作したりと、貴重な体験ができて、たくさんを学ばせていただきました。これからも、総社市が明るい町になるように、ボランティアなどで貢献していきたいです。
昭和中学校	井上 裕斗	このような機会を下さって、とても光栄に思います。仙台市視察をはじめた皆さんの経験を活かし、今後につなげていければいいと思っています。
	大月 幸子	私は、任命式から、子ども議員が集まる時は、いつも緊張していました。でも、自分がしたいと思ったことだし、中学生が議場で議会ができることは、とても貴重なので、最後まで、子ども議員として、セリキレました。東北へ行ってみたいという、現地の中学生と話せた事や自分の案を議会で言えたこと、それに、今までのその緊張が私にとって、とてもいい思い出になりました。

総社市子ども議会活動報告書

発行 平成 25 年 3 月
企画・編集 総社市保健福祉部子ども課
〒719-1192
岡山県総社市中央一丁目1番1号
TEL 0866-92-8268
FAX 0866-93-8385
ホームページ <http://www.city.soja.okayama.jp>
Eメール kodomo@city.soja.okayama.jp